

## 統計調査と情報処理

統計審議会会長 山内二郎

これからの時代は、情報化時代になるとか、あるいは情報化社会になるとか、よく耳にするが、これはまことにあいまいな言葉で、どんなことをさすのかは、はっきりしない。しかし、テレビ、ラジオ、新聞雑誌その他マスコミの流す情報のはんらんは、まことにおそるべきものがあり、何が真実であるかを見きわめなければならない時代になりつつあることはいなめない。このなかで統計というものについて考えて見たい。

### 統計の重要性

従来もいわれて来たように、適切な、質の高い統計は、行政にせよ企業経営にせよ、それによって現状を知り、過去からの変動を知り、これらをうまく分析し、動向を察知し、あるいは将来を予測するなどして、政策を立案したり、それをもとにして、鋭いカンによって意志決定をしたりする、あるいは反省し改善するということの根拠となるきわめて重要なものである。

たとえば国として考えれば、どの事項のどのような内容の統計を必要とするかが、まず問題である。いわば統計整備の問題である。また限られた予算範囲内で、できるだけ整備するとすれば、関連統計の協同計画実施もまた重要な問題である。動態を考えるならば、接続性を考え長期的に考えなければならぬであろう。

### 統計調査

質の高い統計といったが、限られた予算内で許される精度をねらった統計調査の設計が具体的に研究され、立案されるわけであるが、戦後のわが国の統計調査は担当者の絶えざる努力の結果いろいろ問題を抱えながらも逐年よくなって来ているといえる。

それが都道府県から市町村へ、そして統計調査員へと伝わって、ここで具体的に実施されるので、統計調査員の奉仕が統計調査の質に最も根本的なかわりがあると、いわなければならないのである。たとえば統計調査対象者が全くいなくなってしまうときにどうしたらよいかという問題をとって見ても、これはこの統計調査の設計立案者の考慮した手続きに従うことが大切なのである。統計調査員の人々の奉仕、気づかい、いろいろむずかしい場合もあるであろうに、その手当のことは、なかなか思うにまかせない始末で、私どももいささかの努力をしながらもつらい思いである。

### 情報処理

統計調査の結果を集計し、製表するという作業には、現在は電子計算機がつかわれていることは、ここにいうまでもない。電子計算機を中心とする情報処理機構は、戦後の最も著しい発達の一つである。情報処理速度も規模も逐年増大しているし、その処理技術も向上して来ている、その実績は目を見はるものがある。

その結果、前に述べたとおり、得られた統計から現状を知り、過去からの変動を知り、いろいろ分析し、動向を察知し、あるいは将来を予測するなど、原理的にも手のかかるようなことでも、容易に整理し、われわれの利用を便利にしてくれる。このための種々な学理も発達して来ているのである。

また統計の全国利用のため、都道府県市町村のコード、地域の標準コードなども次々に発表されている。こうしておいおい情報処理も円滑に進めて行けるようになって行くであろう。

おわりに国民背番号の問題であるが、しかしこの問題はあまりにも大きく、わが国の人口が巨大であること、電子計算機の誤算、その他技術的にもむずかしいこともあって、今回は触れないでおく。